

報道関係者各位

2013年7月22日

東洋学園大学

本郷キャンパス：東京都文京区本郷 1-26-3

流山キャンパス：千葉県流山市鱈ヶ崎 1660

東京&大槌の学生発信イベント「大槌大学」を

8月1日・2日に岩手県大槌町で開催

東洋学園大学、東京・広尾高校、岩手・大槌高校の学生らが参加
大学のない大槌町で、大学の学びを体験できるイベントを実施

東洋学園大学（学校法人東洋学園 本部：文京区本郷 理事長：江澤雄一）は8月1日（木）・8月2日（金）に東京都立広尾高等学校、岩手県立大槌高等学校の学生たちと共同企画したイベント「大槌大学」を岩手県大槌町で開催します。

東京と大槌の大学生・高校生が、講義やフィールドワーク、学園祭、熟議形式で議論を行う「ほえ～るかふえ」で意見を交換し、大槌町の魅力を伝えるハンドブックをまとめあげるなどの活動を通じて、お互いの交流を図り、地域活性化を目指すとともに、大槌の良さを発信するイベントです。

大学のない大槌町に大学を。「ほえ～るかふえ」をもとに学生自身が企画

今回開催するイベントは、2011年から行なわれている東日本大震災復興支援イベント「ほえ～るかふえ」に端を発しています。これは東洋学園大学が石巻専修大学、日本計画行政学会とともに行なってきたイベントで、「熟議カフェ」という形式で、震災直後の経験とその後の復旧・復興に関して被災地の大学生と首都圏の大学生が交流し、率直な話し合いを行うものです。現在まで3回開催されたこのイベントを通じて、中期的視点による復興に対する共有の意識を図ってきました。その活動を通してNPO法人ピアサポートネットしづや、社団法人おらが大槌夢広場との連携が生まれ、このたび、東洋学園大学の学生のアイデアをもとに東京都立広尾高等学校、岩手県立大槌高等学校の学生らと共に企画したイベント「大槌大学」開催の運びとなりました。

イベントでは、大学のない大槌町の高校生に「大学」を体験してもらう、という意図のもと、講義やフィールドワーク、ディスカッション、学園祭など大学での学びを取り入れたプログラムを行います。

フィールドワークや熟議、「学園祭」で生徒・学生同士の交流を行い、地域活性化にも貢献

イベントでは、まず8月1日（木）に大槌高校の学生の案内による大槌巡りを行い、「友達に大槌町を紹介するときの1枚」をテーマに東京の大学生、東京の高校生、大槌の高校生というそれぞれの視点で大槌町の様子を撮影。翌日、それらの写真をもとに熟議カフェ「ほえ～るかふえ」を開いて議論を行い、大槌町の魅力を伝える「大槌ハンドブック」としてまとめ上げます。

また、「大槌大学 学園祭」として、各校の学生がそれぞれレクリエーションを企画します。各校混合チームによる対抗戦ゲームや出し物などを予定しています。これらの企画により、学生同士の親睦を深め、また地域活性化の一助にしたいと考えています。

「大槌大学」概要

主催：東洋学園大学

協力：日本計画行政学会 東日本大震災復興支援特別研究チーム「社会貢献プラットフォーム」、
NPO 法人 ピアサポートネットしづや、社団法人 おらが大槌夢広場

【参加校（予定）】

東洋学園大学、石巻専修大学、専修大学、東京都立広尾高等学校、岩手県立大槌高等学校

8月1日（木）	7:50	大槌大学 開校式 （会場：旧大槌町立安渡小学校）
	8:20	オリエンテーション
	9:50	講義①
	10:30	講義②
	11:00	昼食 仮設住宅に暮らす高齢者の方々と一緒に、大槌町食生活改善推進協議会（安渡地区）による地元食材を生かした郷土料理をいただく。
	12:00	フィールドワーク 大槌高等学校生徒の案内で、蓬萊島や震災で船が乗り上げた旅館、町役場、吉里吉里の海など（予定）、大槌町を巡り、「友達に大槌を紹介するときの1枚」を各自写真に撮る。
	16:00	大槌大学学園祭（各校主催のレクリエーション）
8月2日（金）	8:30	ほえ～るかふえ at 大槌大学 （会場：大槌町 臼澤鹿子踊保存会伝承館） 前日のフィールドワークを踏まえ、大槌の魅力を伝えるためにはどのようなすればよいかを熟議し「大槌ハンドブック」を作成。
	11:00	おらが大槌 復興食堂にて昼食
	11:30	大槌大学卒業式 （会場：おらが大槌 復興食堂）

* 本件に関するお問い合わせ先 * 東洋学園大学 広報室 （担当：北川・大橋）

電話 03-3811-1783 FAX03-3811-5176 e-mail:koho@of.tyg.jp http://www.tyg.jp